

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動内容により静・動で空間分けしていません。宿題など集中してできるようになりました。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			2:1を目安に配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		入口からトイレまで段差は有りませんが、手すりの設置まではしていません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		業務多忙の中で、実施したことに対する振り返りが不十分なケースがありました。実施→振り返りの習慣づけが必要。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを実施しています。今後とも継続的に実施します。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	今回からHPにて公表します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は未実施です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月1回の全スタッフ会議の冒頭30分程度用いて、安全や人権のテーマ中心に実施。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		「客観的に分析」という箇所については不十分です。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		今年からVinelland-Ⅱを一部取り入れています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			社員中心にパート含めて行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			新しいプログラムは積極的に取り入れています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	平日、休日という意識での課題設定はしていませんでした。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			計画には個別課題が必ず盛り込まれています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			始業前に30分程度打合せをしています。長期休暇中の打合せが課題です。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		送迎後には各自で振り返りを書いてもらっています。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか			○	話し合ったことが記録として残っていないケースがありました。記録の習慣づけが必要です。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			日々の打合せやふり返り記録を通して随時モニタリングしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		複数の組み合わせはできているが、ガイドラインまで意識していませんでした。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			適任者が出席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			送迎時には必ずこちらから先生に声をかけるよう指導しています。通常と違ったことがあれば随時学校に電話を入れています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—	受け入れの事例がありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	相談支援事業所や療育センター等とは連携がとれていますが、保育園等とは意識的に連携をしていませんでした。今後課題です。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	情報提供を求められる機会がありませんでしたが、今後は機会があれば積極的に情報提供したいと思います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		必要に応じて療育センターや児相と連携をとっています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	公園など屋外活動ではいろいろな人と一緒にしますが、あえて交流の機会を設定するまでは至りませんでした。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			事例検討など大いに学ばせてもらっています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時にお話をする他、必要に応じてこちらからも電話をかけるなどしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレントトレーニングとは異なりますが、将来の生活像について今年度4回の学習会を予定しています。1回目は6月に実施済み。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に1時間程度お時間を頂いています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		相談には積極的に応じています。「助言」となると共感的に話を聞くに留まっている感があります。

責 任 等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会等はありません。今年度予定している学習会の中で自然な形で連携が取れればと考えます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者からの電話には当日中に折り返すことを原則としています。また、忘れ物等も速やかにお届けしています。
非 常 時 等 の 対 応	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			SORA通信を発行している他、HPやFacebookページも活用しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			入社時に守秘義務について教育しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		子ども向けには「目で見てわかる化」の工夫はしています。障害のある保護者はあまり意識していませんでした。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			納涼会等に近隣の方にお声掛けして参加していただいています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		防犯マニュアルが未整備です。急ぎ検討課題です。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練の他、保護者向けに災害伝言ダイヤルのお試し期間も設けています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			入社時に虐待防止について教育している他、ニュース活用して随時ミーティングで取り上げています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	自傷他害のあるお子さんへの対応で身体拘束に該当するケースがありますが、計画に記載するなど怠っており改善が必要です。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	親からの指示はもらっていますが、医師の指示書まではもらっていません。急ぎ指示書をいただきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			管理者が取りまとめて周知→ファイリングしています。また日々の打合せでKYTを実施しています。